

# 『NEWデリバリー通信』 Vol17

第五回目となりました『仁科三十三番札所めぐり』、今回は池田町4カ所、松川村2カ所にあります札所の紹介になります。ミニコミのスペースが限られているため、詳しい内容の記載までは出来ませんでした(⋯;)。

発行元：大町デリバリーサービス松尾新聞店

発行枚数：2600部

発行日：不定期 宅配されています信濃毎日新聞・朝日新聞・毎日新聞・産経新聞といっしょにお届けしております。ご意見ご感想お待ちしております！

## 大町巡拝の旅 『仁科三十三番札所めぐり ⑤』

それぞれの詳しい場所の地図はスペースの関係上ホームページに記載しました。アドレスは <http://shimbun.web.fc2.com/>

### <二十三番札所 成就院 じょうじゅいん>

『枯れし木に 花咲く誓い あるものを 願う心の  
開かざらめや』



池田町北部から大峰高原へ向かう道路の途中を右折し、狭い山道を入った池田町広津平出の山中にある。「こんな山深くに…」と感じるほどの立派な寺は、天文9年(1540)丸山肥後守平盛慶の開基で、大

沢寺7世雲庵により開山され、来鳳山成就院と号したのが始まりとされる。火災により焼失したが昭和28年に再建された。33番札所のなかでも最も美しい庭園を持つ寺院。



### <二十六番札所 浄念寺 じょうねんじ>

『彼の国を ねがう心や いたるらん ここを去ること  
遠からずして』



池田町3丁目、役場南東方の狭い町道ぞいにある。中国の門を思わせる山門が特徴だ。記録によると、同町東町にある堺堂(観音堂の

別称)の観世音がこの寺に安置されたと言われる。現在の本堂は仁科神明宮に隣接していた神宮寺の本堂を買い受けしたものです。



### <二十七番札所 林泉寺 りんせんじ>

『影高き 法の林の 木隠れに いづる泉の

水ぞすずしき』



池田町1町目にあった寺。真言宗高野山遍照光院の末寺だったと言われる、おそらくは土地の豪族(池田氏)の祈願寺として開創されたものではとされている。安政三年(1856)の池田大火でこの寺も焼け、焼け残った仁王門もいまはない。ただ林泉寺の遺構としてあるのは、寺の鎮守の神として祀られていた稲荷社だけとなりました。その後廃寺となり、再興されることはなかった。場所はわかりづらい所にあります、池田郵便局前のもと甲斐沢豆腐店よこの細い路地を東にはいり、つきあたりを左に折れるとあります。

た仁王門もいまはない。ただ林泉寺の遺構としてあるのは、寺の鎮守の神として祀られていた稲荷社だけとなりました。その後廃寺となり、再興されることはなかった。場所はわかりづらい所にあります、池田郵便局前のもと甲斐沢豆腐店よこの細い路地を東にはいり、つきあたりを左に折れるとあります。

### <二十八番札所 観音堂 かのんどう>

『たのもしな 田の面の いなば分け過て 秋のみのりの  
寺にゆく身は』



池田町の県道大町明科線から東へ1本入った、池田町・東町の町道を南へ向かい、最初の曲がり角を東へ入った路地沿いにひっそりとたたずむお堂が「観音堂」。「堺堂」とも呼ばれる。堂の前には札所

を示す石碑が建てられている。堂の前に26番札所の石碑があるが、栗林家文書に残る札所御詠歌原本では28番札所となっており、本来28番札所だったものが、いつの間にか変わったらしい。



### <二十九番札所 蓮盛寺 れんじょうじ>

『咲きて散る うさもあらじな 法の庭 きよき蓮(はちす)の  
花のさかりは』



大町市常盤境に近い、松川村北部の反川にある。国道147号を大町市から南へ向かい松川村に入っすぐの高圧線鉄塔のあるT字路を西へ向かうと、蓮盛寺が見える。中世に松川村にあった

寺院では唯一現存するという。天文元年(1532)蓮盛和尚を開基とし、大和田大蔵丞を中興の祖と伝えられる。明治の廃仏毀釈で蓮盛寺も廃寺となり、本堂は改修され、明治七年松川学校となり、明治二十四年まで存続していました。



### <三十番札所 観勝院 かんしょういん> (勸勝院)

『世の人を 勧むる法のおしへより ほかにまされる  
道はあらじな』



松川村川西にあった寺。大町市の大沢寺の末寺だったとされる。永正11年(1514)功岩和尚の

開基、大和田大蔵丞盛久の中興と伝えられる。明治時代に廃寺となり、山門は大町市の霊松寺18番札所へ明治11年に移築された。寺の建物はまったくなくなり、池と墓地がわずかに昔を物語っています。







『湯たんぽ』寝る前に熱い湯を入れておけば、一晩中、布団の中を暖めてくれる湯たんぽ。湯は翌朝でも30～40度の温かさを保ち、洗顔などに再利用できます。省エネ意識、エコ意識の高まりを受けて、湯たんぽの人気は急上昇を続けています。玩具などの安全性をチェックしている財団法人製品安全協会によると、同協会の認定を受けた「SGマーク」付きの湯たんぽの生産量は、04年度には97万個だったものが、07年度は289万個、08年度は890万個と、爆発的なヒット商品になっています。大手雑貨チェーンの東急ハンズ（東京都渋谷区）でも07年度は湯たんぽの売り上げが、前年度に比べて150%に伸びています。湯たんぽを主力商品の一つとする癒し系雑貨メーカーの「ほんやら堂」（群馬県高崎市）は、地球温暖化防止活動をするNPO法人「そらべあ基金」に絶賛、地球温暖化のために絶滅が危ぶまれているホッキョクグマの「そら」と「べあ」をキャラクターにした湯

たんぽを製造し、その売り上げの一部を寄付しています。最近はかわいいキャラクターや動物をデザインした湯たんぽカバーが若い人たちの人気を集め、湯たんぽ人気のもう一つの理由になっています。「キューズベリー」（大阪市）では、国内生産した100種類以上の湯たんぽカバーをインターネットで販売しています。



## 新聞配達に関してのお客様へのお願い

いつも当店で取り扱いをしております信濃毎日新聞・朝日新聞・毎日新聞・産経新聞・大系タイムスをご購読いただきまして、ありがとうございます。昨年末からの大雪の時には配達時間が遅くなり、お客様に大変ご迷惑をお掛けしました事をお詫び申し上げます。当店では配達の終了時間を6時までには終了するように、がんばっておりますが、一部の区域において配達終了時刻が遅いとの苦情を受けまして、配達パートさんの配達区域の見直しを行いました。それでも「うちの配達時刻は配達時間が遅い!」と感じている方は当店までご連絡をお願い致します(.-.)。

もう一つお願いですが、最近になって、新聞が届いていないよ!との連絡が多くなってきております。確かに配達パートさん達が新聞を余らせて帰ってくることもありますが、どうにもおかしい新聞の不配達が目立ってきております。配達パートさん達は、週に一日お休みをとっていただいております、その時の配達是我々社員が配達をしております、先日社員が配達をした区域のお客様から届いていないとの連絡を受けましたが、間違いなく配達をした家からの連絡でした。そのお宅は、道路に面しており新聞を入れるポストの位置も、簡単に道路側から新聞を抜きやすいところにあり、おそらくは盗られたのではと考えられます。コンビニで新聞を購入すれば110円～130円、大系タイムス80円なんですけど、なんともせこすぎるドロボーさんがいるようです(.-;)。そこで皆さんにお願いです、あきらかに怪しい人を見かけましたら当店までご連絡をお願い致します。また、当店の対応策としましては、ポストの奥まで新聞を入れさせていただき、外から簡単に新聞を抜けなくするようにさせていただきます。結果としてお客様も抜きずらくなってしまうかもしれませんが、なにとぞご理解とご協力をお願い致しますm(.-.)m。

その他の配達に関する苦情につきましても、ご連絡頂ければ最善の方法で対応させていただきますので、お気軽にご連絡ください。雨に日に新聞が濡れてしまう、大雪の時には車で入ってこないでなどなんでも結構です、お待ちしております。。



## 新聞に載らない内緒話!

同窓会有情

中学校の同窓会幹事を10年以上、務めている。正確には同級生だけの会だから、同期会と呼ぶべきもののだろう。

余談だが、つい最近まで「2007年問題」という言葉が流行った。この年、団塊世代が一斉に定年退職、社会に対する影響、彼らの老後の行方が口の端にのぼったのである。

私たちは団塊世代の少し後に生まれ、「新人類」と呼ばれる世代のはざ間で生きてきた。大学紛争には間に合わず（別に苦しんでいるわけではないが）、新しい価値観にはちょいとかみ合わない、当年56歳の世代である。

中学校は1960年（昭35）に創設され、来年が50周年になる。戦後のベビー・ブーマーに対応すべく、次々と建てられた学校群は今ごろがそんな節目の時期を迎えたようで、街中を歩くと「50周年」を祝う横断幕をよく見かけるようになった。当時は一クラス50人にちょっと欠ける編成で、私たちの学年は7クラスあった。少しずつ、富める者と、貧困から脱出できない者がまだら模様で、格差が芽生え始めたころであろうか。その後、オイルショックに驚き、バブルでにわか天国を経験した。

同窓会の名簿は卒業生約350人中、130人ほどが整備され、例年往復はがきで出欠を求めるのだが、返答率は約60%で、出席は先生方を含め30人ほどというのが最近の平均である。

「長女に赤ちゃんが生まれました」「孫1人、元気に育っています」という明るい報告があれば「一人息子が亡くなりました。出席の気分にはなれません。元気になったら」という胸がヒリヒリするような返事も届く。

「メタボ対策でジム通い。その後に一杯、これじゃダメじゃん」と、おじさんの悩みも伝わってくる。白内障、高血圧、糖尿病で欠席も増えてきた。身辺ただならぬ年回りになってきた。いまだに転勤を繰り返す友人もあり、スナックを経営する女性は「12周年を迎えました。飲みに来て頂戴」とのお誘いである。

「欠席」のひと言で終わる返信もある。返事のこないはがきもある。それぞれが、それぞれの人生を送っているのであろう。無名人の、平穏な人生を願うばかりである。

(有) 大町デリバリーサービス松尾新聞店

大町市大町2675-7 (ハローワーク大町すぐ近く!)

電話: フリーダイヤル 0120-030553

FAX 0261-22-8402

HPアドレス : <http://shimbun.web.fc2.com/>

